

生育状況（10月14日現在、水戸市）

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	備考
	本年	平年対比			
茨城県 （水戸市）	ベニアズマ 10月14日収穫	かなり 軽い (上いも重)	気象概況： 9月30日～10月14日(直近5ヵ年の平年値との比較。水戸地方気象台観測値) 上記期間の平均気温は20.0℃で、平年並だった（20.2℃）。降水量は52.0mmで、平年よりかなり少なかった（92.1mm）。日照時間は53.2時間で、平年よりやや短かった（66.3時間）。 掘り取りは、平年並の挿苗後147日に行った。今年の収量および品質は、平年と比較して以下の通りだった（表1、2）。 ベニアズマ： 平年と比較して、つる重は軽く、総いも重は軽く、上いも重はかなり軽かった。1株あたり塊根数はかなり多く、塊根1個重はかなり軽かった。サイズ別収量は、S以下がかなり多く、M+Lが多く、2L以上がかなり少なかった。デンプン含量は平年値と同程度だった。A品率は平年を上回り、塊根の障害は、くびれの発生が最も多く、次いで曲がりの発生が多かった。 べにはるか： 平年と比較して、つる重は平年並、総いも重はかなり重く、上いも重はかなり重かった。1株あたり塊根数はやや多く、塊根1個重は平年並だった。サイズ別収量は、S以下が平年並、M+Lが平年並、2L以上がかなり多かった。デンプン含量は平年値より多かった。A品率は平年を下回り、塊根の障害は、根の障害は、くびれの発生が最も多く、次いで曲がりの発生が多かった。	特になし	
	べにはるか 10月14日収穫	かなり 重い (上いも重)			

表1 生育調査（挿苗後147日、10月14日調査）

品種名	つる重			総いも重			上いも重			1株あたり塊根数（上いも）			塊根1個重（上いも）			サイズ別収量					
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	S以下 (kg/a)	平年比 (%)	M+L (kg/a)	平年比 (%)	2L以上 (kg/a)	平年比 (%)
ベニアズマ	355	87 (410)	91 (368)	354	107 (332)	93 (381)	340	105 (325)	91 (375)	5.3	151 (3.5)	139 (3.8)	224	69 (325)	65 (344)	115	218 (53)	181	106 (171)	58	37 (157)
べにはるか	492	75 (652)	103 (475)	441	121 (364)	118 (374)	428	119 (359)	116 (368)	5.1	144 (3.5)	109 (4.6)	297	83 (359)	105 (284)	68	91 (75)	222	107 (208)	151	164 (92)

○ 内は前年または平年の数値。平年値は令和2～6年（5ヵ年）のデータの平均値。
塊根は直径3mm以上のもの、上いも重は一個50g以上のものとした。
挿苗日:5月20日、黒マルチ栽培、栽植密度:286株/a（畦間100cm×株間35cm）、施肥量（kg/a）:N-P2O5-K2O=0.3-1.0-1.0
サイズ別収量は、塊根1個重により S以下：200g未満、M+L：200g以上500g未満、2L以上：500g以上 で区分した時の収量。

表2 デンプン含量、品質区分および障害いもの発生率

品種名	デンプン含量	品質区分				障害いもの発生率					
	本年 (%)	A品率 (%)	丸品率 (%)	B品率 (%)	C品率 (%)	裂開 (%)	皮脈 (%)	条溝 (%)	曲がり (%)	くびれ (%)	尻こけ (%)
ベニアズマ	24.3	39.7	0.0	39.3	21.0	0.0	1.1	7.4	12.7	29.3	0.0
平年値	24.6	33.6	0.5	54.2	10.8	0.6	1.2	7.4	35.9	18.5	3.8
べにはるか	25.8	63.4	1.0	27.6	7.9	0.0	0.0	0.0	6.9	10.9	1.0
平年値	24.0	70.1	1.0	24.9	3.1	0.4	0.4	0.3	16.9	5.3	0.8

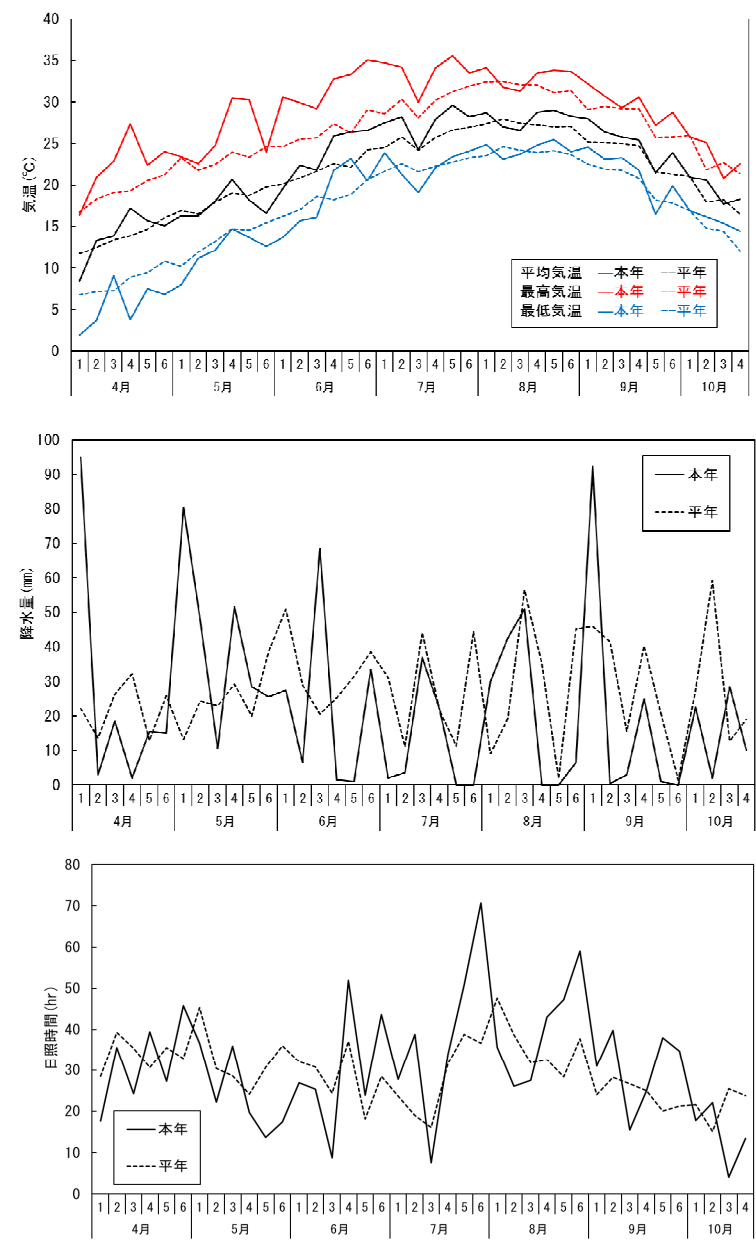
品質区分・障害いもの判定は茨城県青果物標準出荷規格による。

農研所内圃場における生育状況（10月14日撮影）



ベニアズマ

べにはるか



半旬別の平均気温、降水量、日照時間（水戸地方気象台データをもとに作成）